このコースは、Dr.ビーチが 60 年間以上蓄積された知識（3 Knowledge Bases）を基に米国 NPO 法人 GEPEC の教育パネルが設定、
日本 NPO 法人ジーピープログラムジャパンが pd※普及の会にて提供するプログラムです。

※pd（Proprioceptive Derivation）生理学的由来の言葉で、五感のほかに人間が持っている固有感覚を最重要視し、私たちの姿勢、動き、器具、道具などに対して、その是非を判断、評価するプロセスです。

MC 歯科臨床家のための
Mouth Clinician
予防矯正 1.5 日　オンラインコース

オンラインコミュニケーションツール "Zoom" を使用します。

今や、子ども 10 人の内 7～8 人は不正咬合かその予備軍である事をご存じでしょうか。まさに「不正咬合洪水時代」です。このことに対し歯科医師は結果処理にのみ目を向け、治療することにあくせくしているのが現状です。これでは何時までたっても、この混迷から脱却することは出来ないのです。今こそ、不正咬合を予防することに、GP:一般臨床医が一刻も早く目覚め子ども達を救わねばならないのです。本コースは、GP が務めるべき不正咬合に対する予防的対応をしっかり理解し、成長発育期の子どもの不正咬合の原因である機能や姿勢位を正し、形態的問題を適正に図るものです。

GP の皆様のご参加をお待ちしています。

1 日目（土）14:00~17:30

0．オリエンテーション
1．0-Concept と医療の方向
2．不正咬合の実状と対策
3．予防矯正の必要性
4．GP と Specialist との違い
5．形態と機能と姿勢との相関関係
+α. Case Presentation（2～3 症例）

2 日目（日）9:00~12:30

6．不正咬合の原因と結果
7．予防矯正の概念･ルーティン
8．予防矯正治療の流れ
8-①．患者の診方：診査の仕方
8-②．診断法、治療計画
8-③．治療の進め方
+α. Case Presentation（2～3 症例）

13:30~17:00

8-④．機能的問題への対応
8-⑤．姿勢的問題への対応
8-⑥．形態的問題への対応
9．　症例供覧：5～6 症例
10．GP による早期治療
　　第 1 期治療の意義（まとめ）
11．Q&A 予防矯正

▶▶▶ このオンラインコースは従来の予防矯正 Basic とほぼ同様のものです。Advance コースを新型コロナ禍明けに開催いたします。ご期待ください。

講師陣
小佐々晴夫
江崎久美子
廣田恭彦
西田尚人
小佐々康
金明善
黒岩仁奈

開催日　第 1 回 2020 年 12 月　5 日（土）・ 6 日（日）
第 2 回 2021 年　2 月 27 日（土）･28 日（日）
第 3 回 2021 年　4 月 24 日（土）･25 日（日）

受講料（税込）
pd 普及の会会員　55,000 円
モリタ友の会会員　57,200 円
一般　60,500 円

主催　pd 普及の会　**監修** GEPEC　**後援**（株）モリタ

詳細、お申込は
https://gppj.net/
もしくは↓QR コードから

NPO 法人ジーピープログラムジャパン pd 普及の会 事務局　〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6-3-32 第 2 新大阪ビル 611 号
電話: **06-6100-3810**（祝日を除く月～金曜日 10:00~16:00）FAX: **06-6100-3801** URL: **https://gppj.net/** Email: **pdp@gppj.net**